



# 2018年1月期 決算報告

第65期／2017年2月1日～2018年1月31日

クロスプラス株式会社 (証券コード3320)





## 目次

1. 2018年1月期 決算概況
2. 2019年1月期 計画
3. 中期経営計画の進捗状況
4. Appendix





# 1. 2018年1月期 決算概況

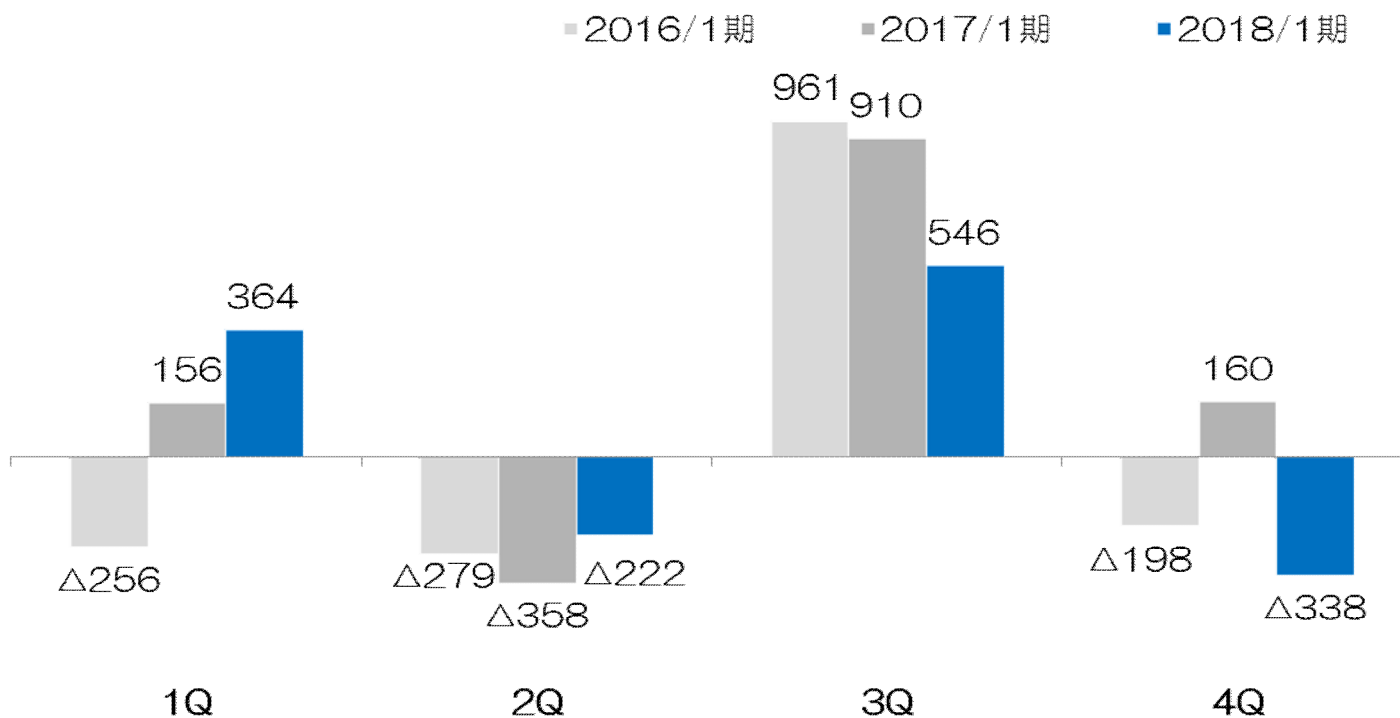


# 2018年1月期 決算総括



- 販売単価の低下により下期減収減益
- 中国での生産の遅延により生産コスト増

四半期毎営業利益



# 【連結】2018年1月期 実績



単位：百万円

	2017/1期			2018/1期							
	上期	下期	通期	上期	前年比	下期	前年比	通期	前年比	期初予想 (2017年 3月13日発表)	修正予想 (2017年 8月30日発表)
売上高	29,348	35,782	65,130	29,272	99.7%	33,508	93.6%	62,780	96.4%	66,000	65,300
売上総利益	5,687	7,386	13,073	6,030	106.0%	6,439	87.2%	12,469	95.4%	13,200	13,400
販管費	5,890	6,315	12,205	5,888	100.0%	6,195	98.1%	12,083	99.0%	12,200	12,350
営業利益	△202	1,070	868	142	-	243	22.7%	385	44.4%	1,000	1,050
経常利益	△126	1,014	888	218	-	309	30.5%	526	59.2%	1,050	1,200
当期純利益	△22	842	820	213	-	453	53.8%	666	81.2%	850	1,000

# 2018年1月期の施策



## ①新規販路拡大

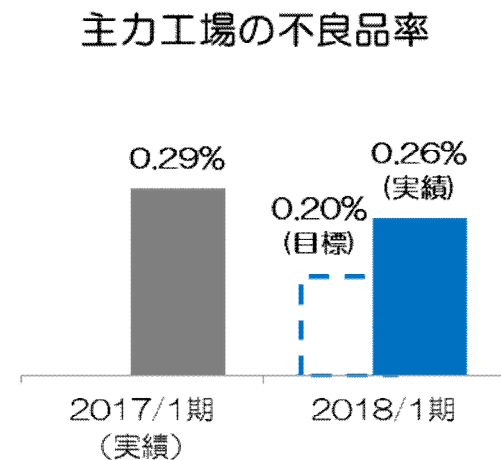
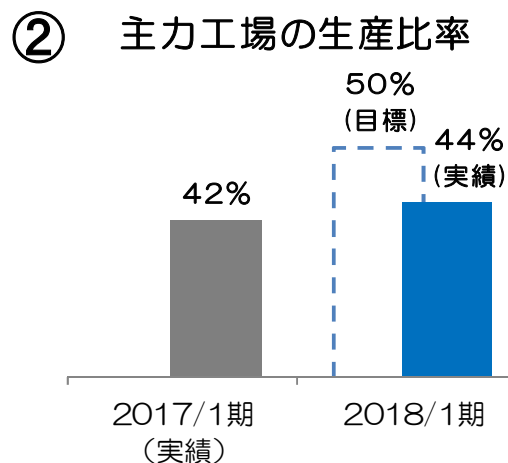
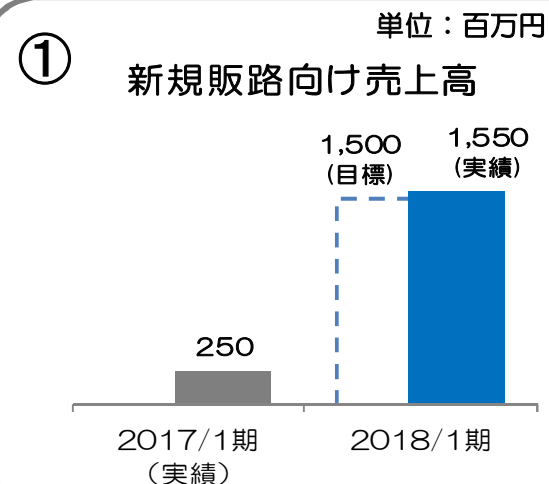
- ・ 新規ファッション専門店との取引拡大

## ②生産工場の集約

- ・ 工場集約と不良品率減少が進むも計画未達

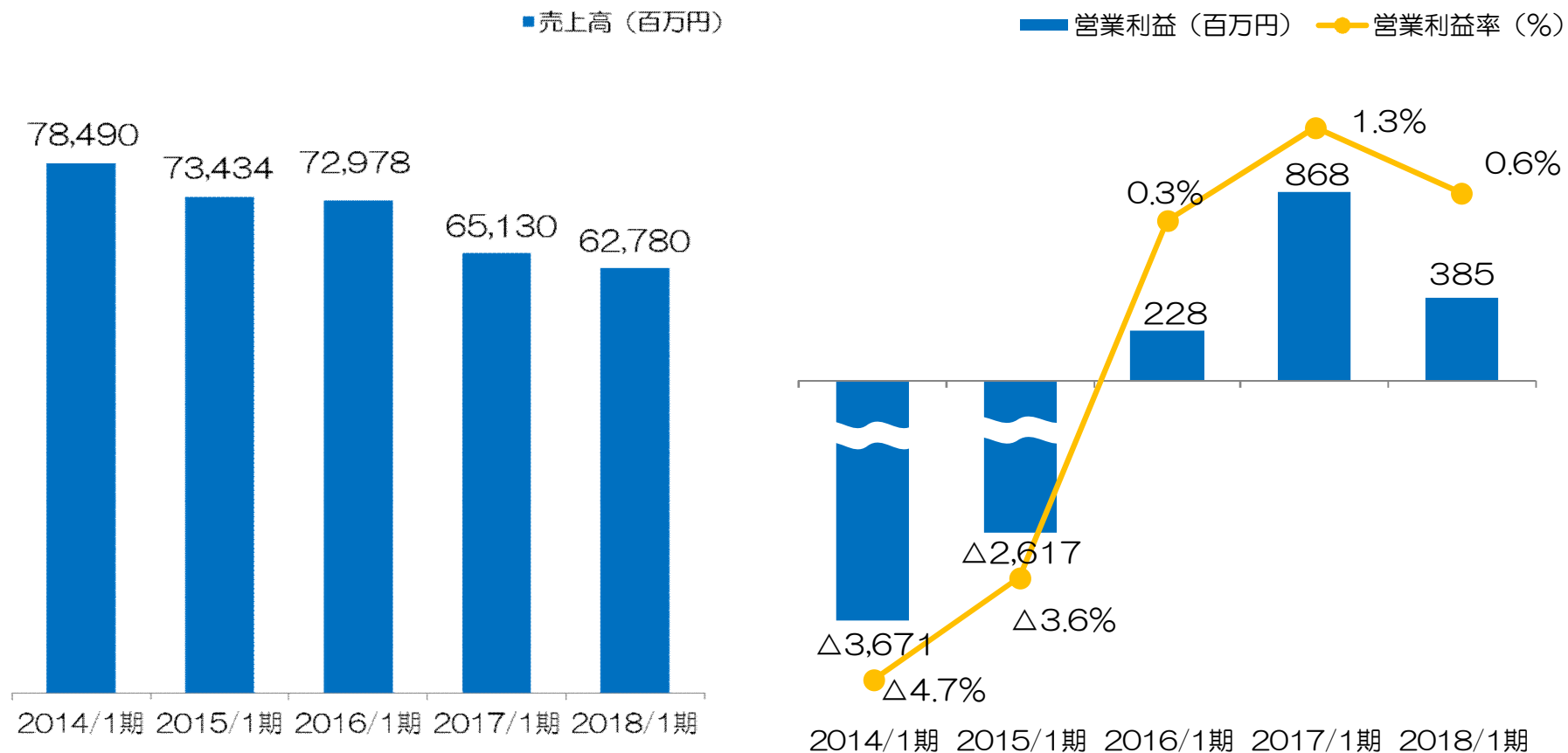
## ③経費削減

- ・ 物流の効率化
- ・ 東京自社ビルの賃貸





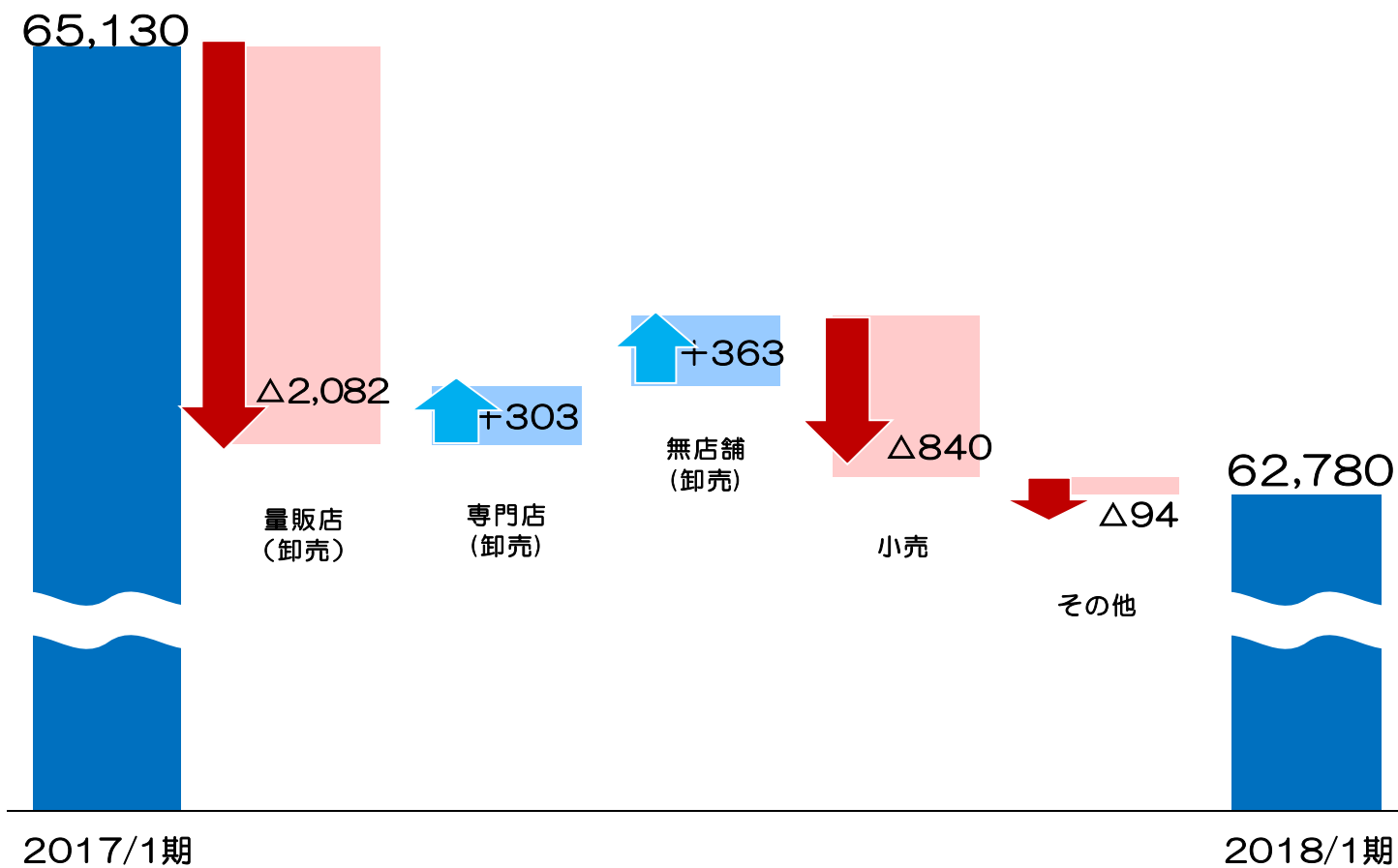
# 【連結】2018年1月期 実績



# 【連結】売上高の増減要因



単位：百万円

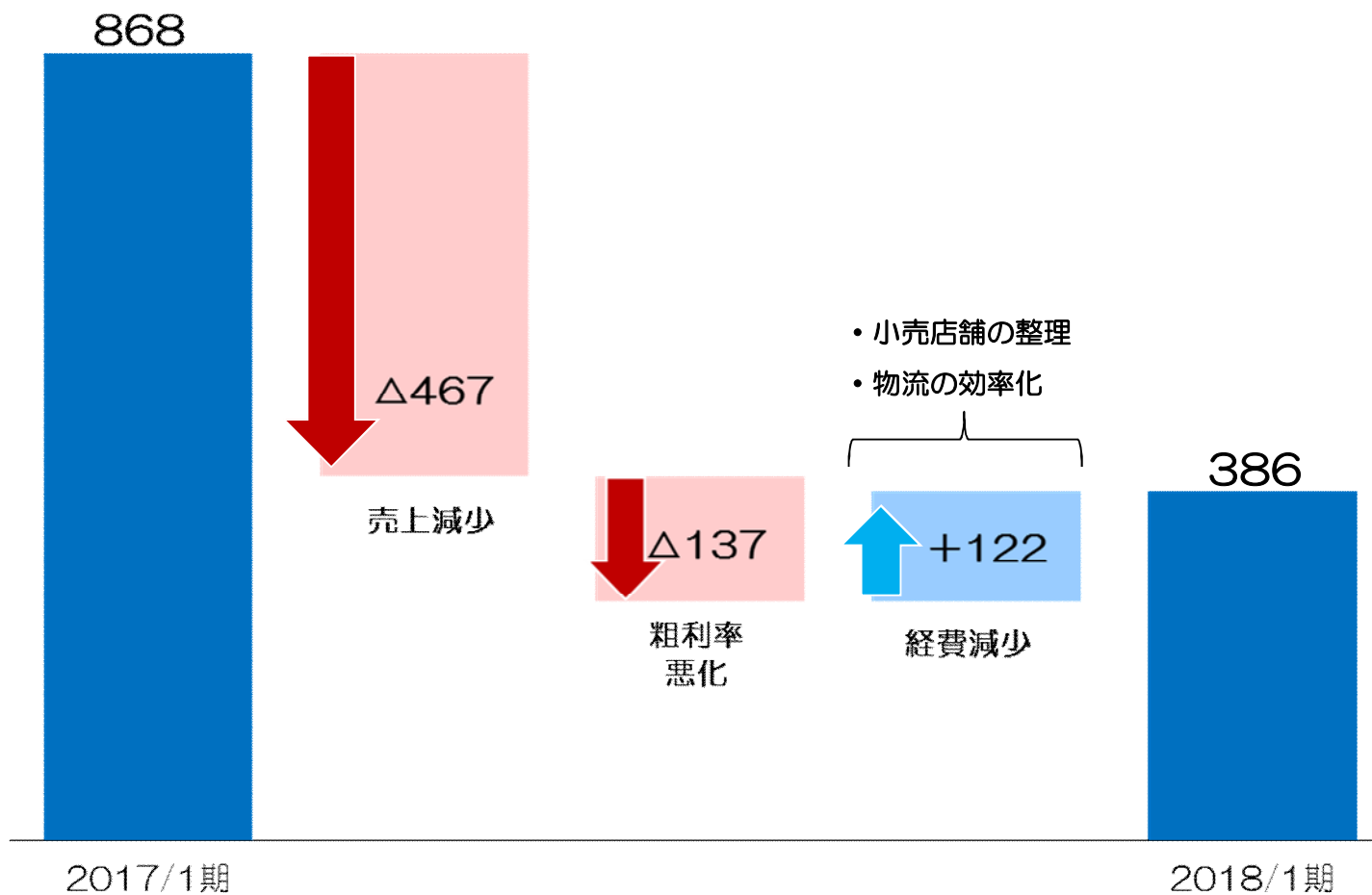




# 【連結】 営業利益の増減要因



単位：百万円

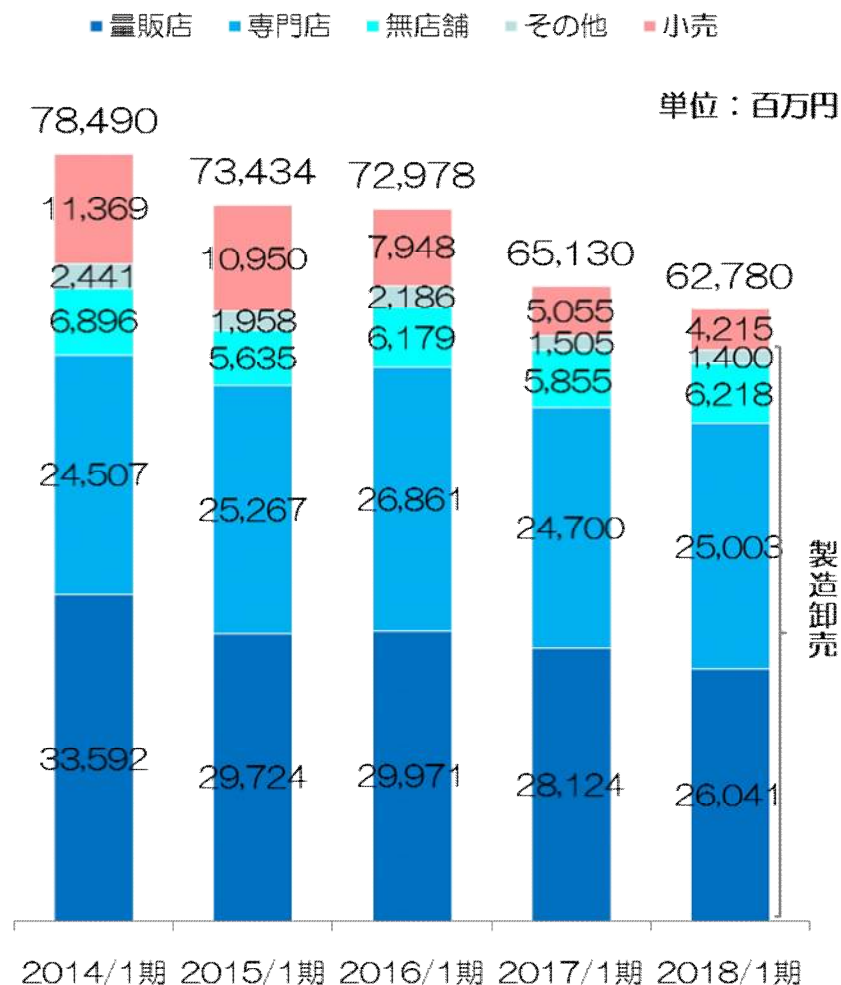


# 【連結】販売チャネル別売上高 実績



単位：百万円

		2017/1期	2018/1期	
				前年比
製造卸売	量販店	28,124	26,041	92.6%
	専門店	24,700	25,003	101.2%
	無店舗	5,855	6,218	106.2%
	その他	1,505	1,400	93.1%
	小計	60,184	58,664	97.5%
	小売	5,055	4,215	83.4%
	消去	△109	△99	—
	合計	65,130	62,780	96.4%



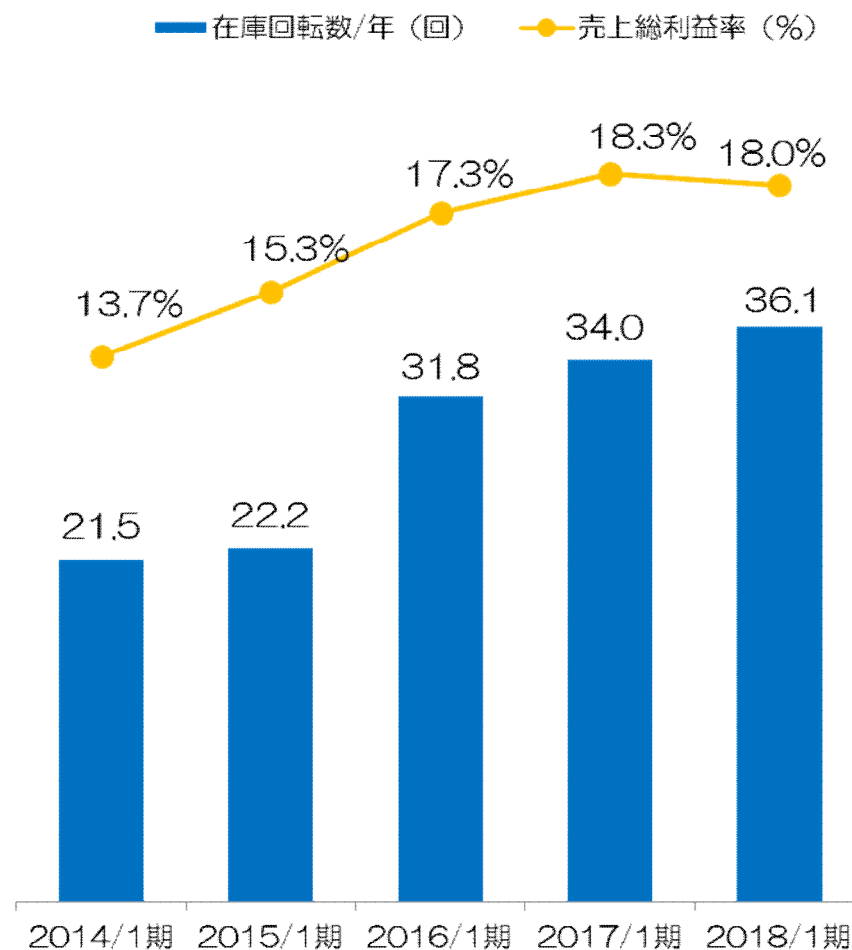
(注) 2016年1月にSPAのヴェント・インターナショナルを解散

# 製造卸売部門（国内） 実績



	2017/1期	2018/1期	
		前年比	
売上高	59,788	58,168	97.3%
売上総利益率	18.3%	18.0%	98.4%
販売単価	1,220円	1,132円	92.8%
仕入単価	987円	915円	92.7%
販売枚数	4,899万枚	5,138万枚	104.9%
在庫回転数/年	34.0回転	36.1回転	106.2%
期末在庫	1,729	1,487	86.0%

(注) 製造卸売（国内）＝クロスプラス卸売＋スタイリンク（株）  
 在庫回転数＝売上高÷（（期首在庫＋期末在庫）÷2）



# 【連結】会社別実績



単位：百万円

	売上高			営業利益		
	2017/1期	2018/1期		2017/1期	2018/1期	
			前年比			前年比
クロスプラス（株）	62,158	60,013	96.5%	813	490	60.3%
スタイリンク（株）※1	2,685	2,370	88.3%	19	△91	—
上海服飾整理有限公司※2	396	496	125.3%	32	19	59.3%
連結調整	△109	△99	—	3	△33	—
連結	65,130	62,780	96.4%	868	385	44.4%

子会社の事業内容

※1 専門店向けODM ※2 中国での検針・検品

# 【連結】貸借対照表・指標



単位：百万円

	2017/1期		2018/1期		
		構成比		構成比	前年差額
<b>流動資産</b>	<b>20,882</b>	<b>70.6%</b>	<b>20,033</b>	<b>68.5%</b>	<b>△849</b>
現預金	4,647	15.7%	4,243	14.5%	△404
受取手形及び売掛金	13,727	46.4%	13,213	45.2%	△514
商品	2,144	7.2%	1,901	6.5%	△243
<b>固定資産</b>	<b>8,699</b>	<b>29.4%</b>	<b>9,230</b>	<b>31.5%</b>	<b>+531</b>
有形固定資産	4,198	14.2%	4,084	14.0%	△116
投資有価証券	3,868	13.1%	4,535	15.5%	+667
<b>資産合計</b>	<b>29,581</b>	<b>100.0%</b>	<b>29,264</b>	<b>100.0%</b>	<b>△317</b>
<b>負債合計</b>	<b>18,689</b>	<b>63.2%</b>	<b>17,481</b>	<b>59.7%</b>	<b>△1,208</b>
支払手形及び買掛金	11,433	38.6%	9,665	33.0%	△1,741
有利子負債	3,221	10.9%	3,680	12.6%	+459
<b>純資産合計</b>	<b>10,892</b>	<b>36.8%</b>	<b>11,782</b>	<b>40.3%</b>	<b>+890</b>
株主資本	9,714	32.8%	10,344	35.3%	+630
1株当たり純資産（BPS）		1,488.56円		1,608.38円	+119.82円
1株当たり純利益（EPS）		112.11円		91.14円	△20.97円
自己資本比率		36.8%		40.2%	+3.4%
株主資本利益率（ROE）		7.9%		5.9%	△2.0%
総資産利益率（ROA）		2.8%		1.8%	△1.0%

# 【連結】 キャッシュ・フロー



単位：百万円

	2017/1期	2018/1期	
			前年差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	321	△799	△1,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	199	△34	△233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,083	422	+1,505
現金及び現金同等物の増減	△653	△410	+243
現金及び現金同等物の期末残高	4,419	4,009	△410
減価償却費	208	197	△11
設備投資	29	67	+38



## 2. 2019年1月期 計画





# 【連結】2019年1月期 計画



単位：百万円

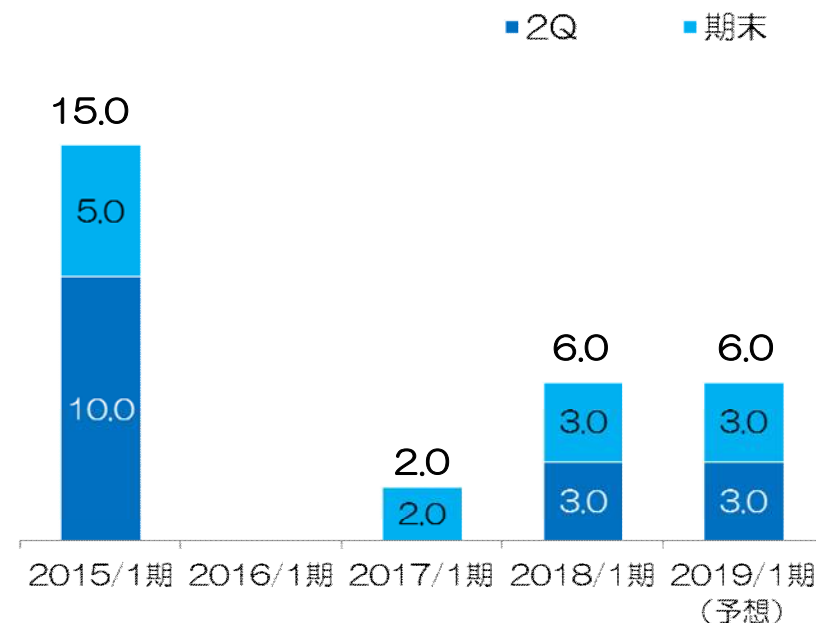
	2018/1期（実績）			2019/1期（予想）					
	上期	下期	通期	上期	下期		通期		
					前年比	前年比	前年比	前年比	
売上高	29,272	33,508	62,780	28,600	97.7%	36,400	108.6%	65,000	103.5%
売上総利益	6,030	6,439	12,469	5,600	92.9%	7,500	116.4%	13,100	105.1%
販管費	5,888	6,195	12,083	6,100	103.6%	6,500	104.9%	12,600	104.3%
営業利益	142	243	385	△500	-	1,000	411.5%	500	129.9%
経常利益	218	309	526	△450	-	1,050	339.8%	600	114.1%
当期純利益	213	453	666	△420	-	920	203.1%	500	75.1%

# 配当政策



- 今後の事業展開及び財務体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続していくことを基本方針とする。
- 2019年1月期の1株当たりの配当金は、6円を予想。

		2018/1期	2019/1期 (予想)
配当金	2Q	3.0円	3.0円
	期末	3.0円	3.0円
	年間	6.0円	6.0円
配当性向		7.7%	4.4%



# 【連結】2019年1月期 重点施策



- 売上対策

- (1) 低価格商品への対応
- (2) 専門店向け販路拡大
- (3) ブランドコーナーの拡大

- 利益対策

- (1) 主力工場への生産集約
- (2) 不良品の削減
- (3) アセアン生産の拡大

- グループ会社の収益改善

生産管理のグループ共通化



### 3. 中期経営計画の 進捗状況



# 中期経営計画（2017年1月期～2019年1月期）



## 1. 将来像

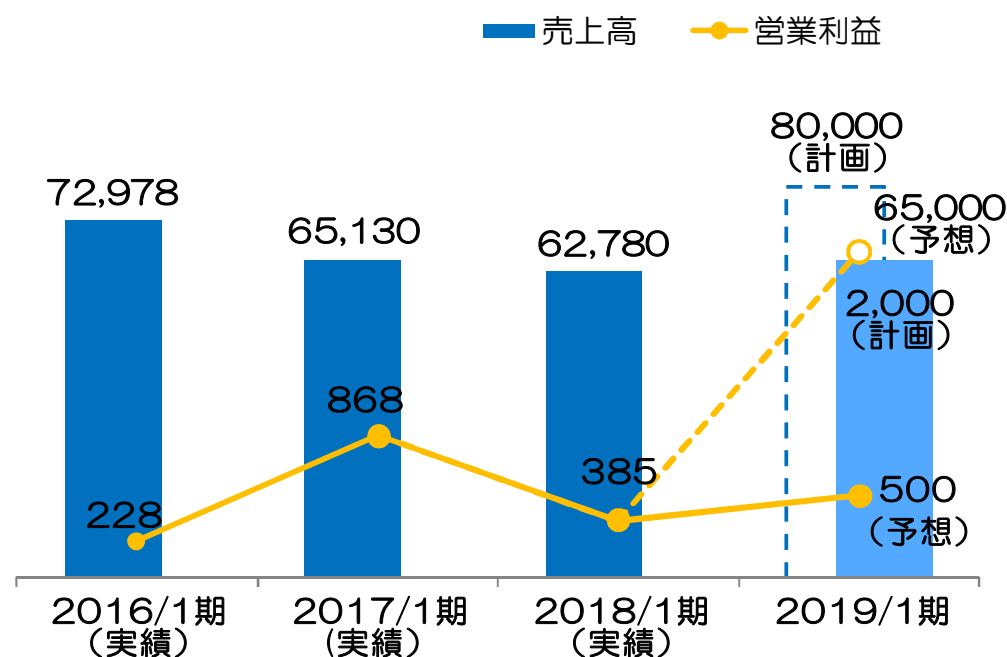
アパレル業界No.1のプラットフォーム企業

## 2. 中期経営計画

(1) 目標 製造卸売事業の安定した収益基盤の確立  
2019年1月期 売上800億円 営業利益20億円

(2) 基本方針

- ①新規販路の拡大
- ②生産基盤の再構築
- ③経営管理基盤の強化



# グループの強み



## クロスプラスグループの企画・提案力





# (株) サードオフィスの子会社化



2018年2月1日、  
メンズを主力としたアパレルの ODM・OEM事業を行う  
(株) サードオフィスの全株式を取得し子会社化

会社名	株式会社サードオフィス
本社所在地	東京都目黒区東山三丁目8番1号
設立	2000年4月19日
資本金	66百万円
事業内容	・アパレルOEM・ODM ・ブランド事業 ・EC事業
OEM 取扱商品	【商品別構成比】 メンズ（70%）、レディース（30%）



①メンズ商品の強化      ②専門店・セレクトショップの強化



# 1. 新規販路の拡大



新規開拓専門の部署を新設し、  
駅ビル・SCブランドへアプローチ

- 2016年 新規販路向け展示会を積極的に開催
- 2017年 単品アイテム商談
- 2018年 フルアイテム商談

	2017/1期 (実績)	2018/1期 (実績)	2019/1期 (目標)
売上	2.5億円	15.5億円	30.0億円
新規販売先	22社	25社	30社

## 2. 生産基盤の再構築



### 海外での生産完了前の検品体制の確立

#### ■主力工場への生産集約

構成比	2017/1期 (実績)	2018/1期 (実績)	2019/1期 (目標)
主力工場	42%	44%	48%
その他	58%	56%	52%

#### ■不良品率の低減

不良率	2017/1期 (実績)	2018/1期 (実績)	2019/1期 (目標)
主力工場	0.29%	0.26%	0.23%
その他	0.46%	0.43%	0.40%

#### ■ASEANでの生産拡大

構成比	2017/1期 (実績)	2018/1期 (実績)	2019/1期 (目標)
中国	84%	82%	80%
ASEAN	16%	18%	20%

### 3. 経営管理基盤の強化



営業のサポート部署を新設し  
業務の効率化と企画生産情報の見える化

- 2016年 企画、営業の各種登録作業の移管
- 2017年 各得意先への販売関連業務のサポート
- 2018年 業務の自動化



CROSS PLUS



## 4. Appendix



# 会社概要



商号	クロスプラス株式会社
設立	1953年4月
本社	名古屋市西区花の木三丁目9番13号
代表者	山本 大寛
従業員数	<連結>705名 <単体>629名 (2018年1月31日現在)
資本金	1,944百万円 (2018年1月31日現在)
発行株式数	7,718,800株 (2018年1月31日現在)
事業内容	婦人服、子供服の企画、製造、及び全国の量販店、専門店等への販売
連結子会社	スタイリンク(株)、(株)サードオフィス、 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司

- 1951年 婦人ブラウスの製造卸売を目的として櫻屋商店を創業
- 1953年 櫻屋商店を改組し櫻屋商事（株）を設立
- 2001年 「クロスプラス」へ社名変更
- 2002年 スタイルリンク（株）を設立
- 2004年 東証二部・名証二部に株式上場
- 2005年 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司を設立
- 2006年 （株）ヴェントインターナショナルをグループ会社化
- 2015年 （株）ヴェントインターナショナルの事業譲渡
- 2018年 （株）サードオフィスをグループ会社化

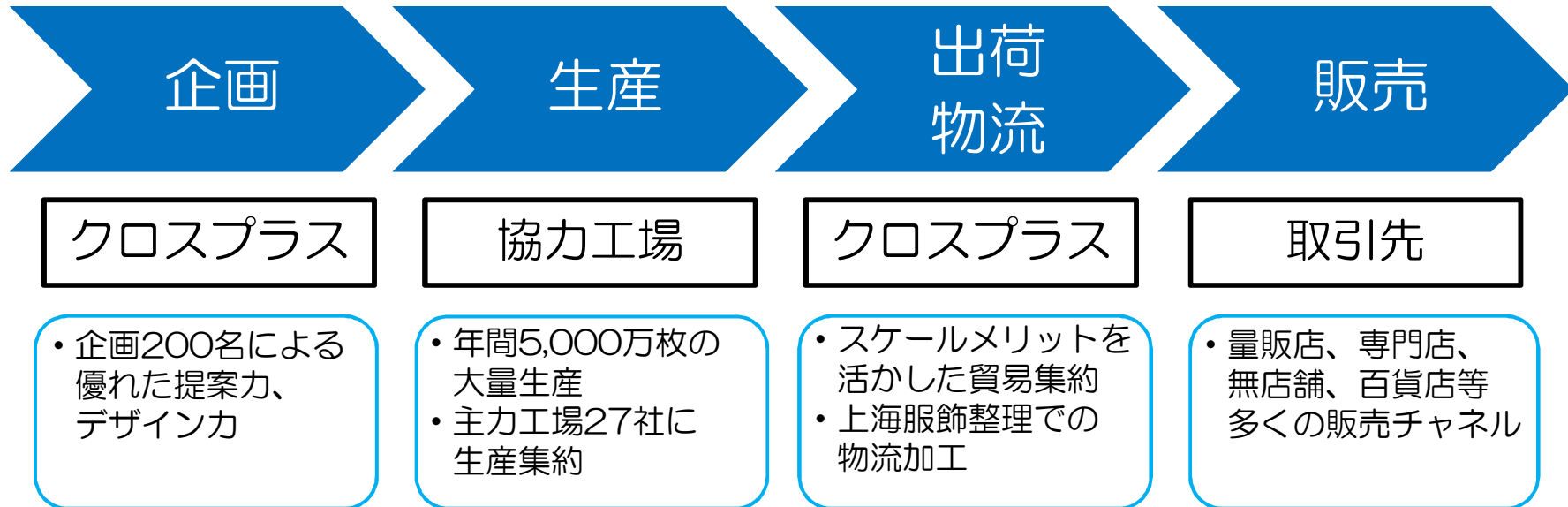


# グループ各社の事業内容と特徴



	会社	事業内容
製造卸売	クロスプラス（株）	フルアイテムを量販店、専門店、無店舗、百貨店へ製造卸売
	スタイリンク（株）	優れた企画・デザインのレディスOEM・ODM
	（株）サードオフィス	優れた企画・デザインのメンズOEM・ODM
	上海服飾整理有限公司	中国での自社商品の検品・検針・物流加工
小売	クロスプラス（株）	百貨店、ファッションビルでのミセス向けSPA

# 製造卸売事業のビジネスフロー



企画・生産・納品までを一気通貫管理

# 製造卸売の販売チャネル



販売 チャネル	売場
量販店	ブランドコーナー
	PB
	平場
専門店	ファッションビル
	ショッピングセンター
無店舗	カタログ通販
	TVショッピング



ブランドコーナー



PB

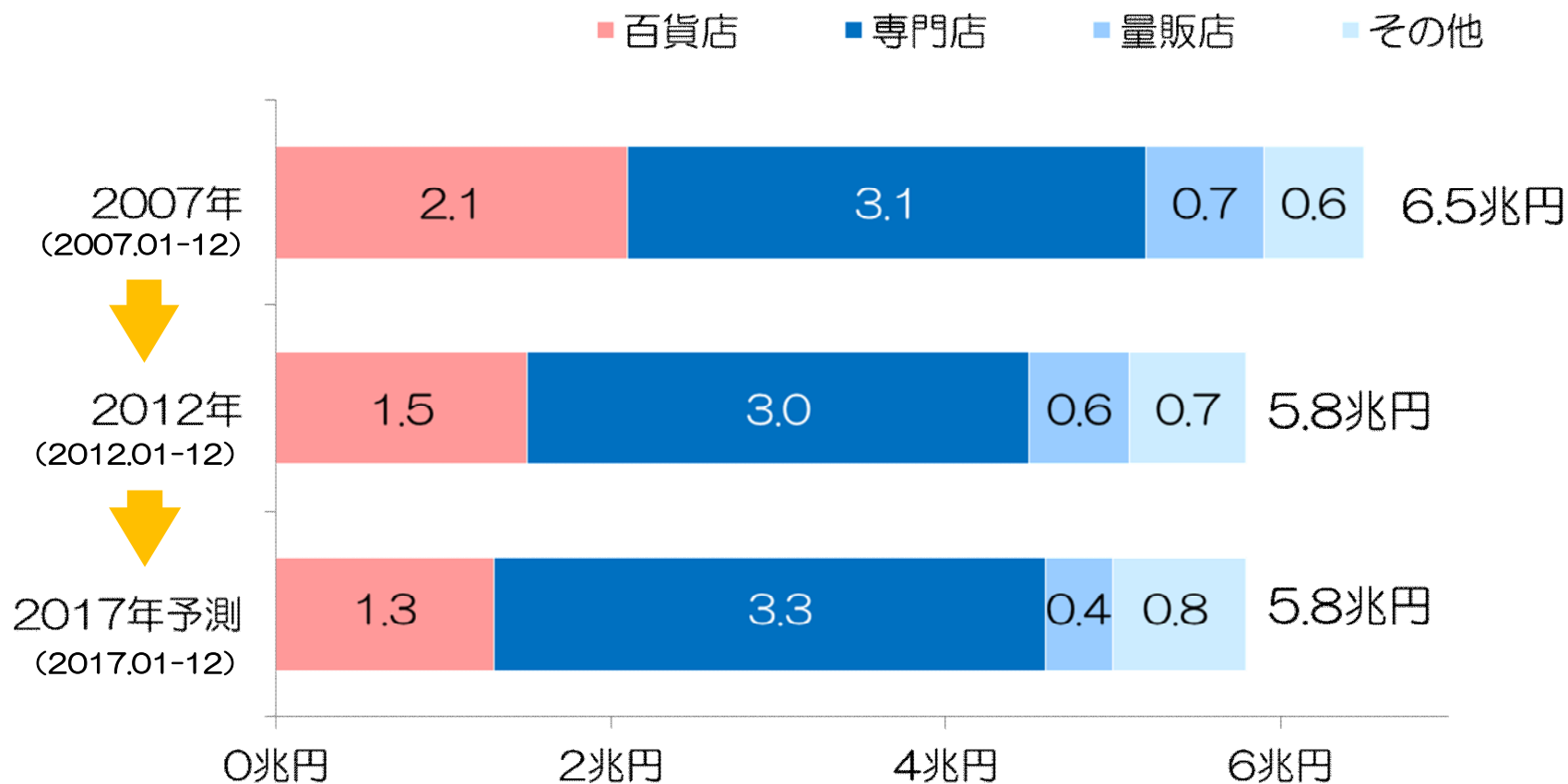


カタログ通販



TVショッピング

# 婦人服市場規模



出所：矢野経済研究所「アパレル産業白書2013、2017」

注：国内婦人服・洋品の小売金額ベース、2017年は予測値（2017年9月現在）、

百貨店および量販店チャネルは経済産業省「商業販売統計」をもとに推計

表示桁未満四捨五入

# 【単体卸売事業】 婦人アパレル業界でのポジション



単位：百万円

## 婦人アパレル売上高

順位	社名	売上高
1	ワールド ◎	165,932
2	オンワードホールディングス◎	146,822
3	TSIホールディングス◎	114,376
4	クロスプラス◎	65,325
5	イトキン◎	59,247
6	ジュン◎	48,777
7	ファイブフォックス◎	46,332
8	ルック◎	41,785
9	三陽商会	39,110
10	ヨンドシーホールディングス◎	38,626

◎連結またはグループ合算 16年度（2016.01-12） 織研新聞 2017年8月1日付

# 免責事項



- 本資料は、当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載されています。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性があります。
- また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

お問い合わせ先

クロスプラス株式会社 経営企画室

TEL : 052-532-2211 (代表)

e-mail : [ir-info@crossplus.co.jp](mailto:ir-info@crossplus.co.jp)